

# 退職所得に係る市民税・県民税の計算方法

## 1. 税率

市民税	6%	県民税	4%
-----	----	-----	----

## 2. 税額の算出方法

退職所得の収入金額	勤続年数
(ア) 円	(イ) 年
※勤続年数に1年未満の端数があるときは1年に切り上げます。	

### (1) 退職所得控除額を求める。

- ①勤続年数が20年以下の場合…  $40\text{万円} \times \text{勤続年数(イ)}$
- ②勤続年数が20年超の場合…  $80\text{万円} + 70\text{万円} \times (\text{勤続年数(イ)} - 20\text{年})$
- ※上記①の金額が80万円に満たないときは80万円になります。  
 ※障がい者になったことにより退職した場合には、上記金額に100万円を加算してください。
- |             |       |
|-------------|-------|
| 退職所得控除額①又は② | (ウ) 円 |
|-------------|-------|

### (2) 退職所得金額を求める。

- |                            |       |
|----------------------------|-------|
| 退職手当等の収入金額(ア) - 退職所得控除額(ウ) | (エ) 円 |
| (エ) $\times 1/2$           | (オ) 円 |
- ※勤続年数5年以内の法人役員等の場合は(オ)の欄は(エ)と同額になります。
- |                 |        |          |
|-----------------|--------|----------|
| (オ)の千円未満の端数を切捨て | 退職所得金額 | (カ) 000円 |
|-----------------|--------|----------|

### (3) 市民税額を求める。

- |                        |       |         |
|------------------------|-------|---------|
| 退職所得金額(カ) $\times 6\%$ | (キ) 円 |         |
| (キ)の百円未満の端数を切捨て        | 市民税額  | (ク) 00円 |

### (4) 県民税額を求める。

- |                        |       |         |
|------------------------|-------|---------|
| 退職所得金額(カ) $\times 4\%$ | (ケ) 円 |         |
| (ケ)の百円未満の端数を切捨て        | 県民税額  | (コ) 00円 |

### (5) 特別徴収税額を求める。

- |                   |        |     |
|-------------------|--------|-----|
| 市民税額(ク) + 県民税額(コ) | 特別徴収税額 | 00円 |
|-------------------|--------|-----|

## 【計算例】

退職手当の収入金額1,047万円、勤続年数19年6か月の場合

- (1) 退職所得控除額を求める。  $40\text{万円} \times 20\text{年} = 800\text{万円}$
- (2) 退職所得金額を求める。  $1,047\text{万円} - 800\text{万円} = 247\text{万円}$   
 $247\text{万円} \times 1/2 = 123.5\text{万円}$   
 ※千円未満の端数は切り捨て
- (3) 市民税・(4) 県民税額を求める。
- |           |  |  |
|-----------|--|--|
|           | 【市民税】  | 【県民税】  |
| (税率を乗じる)  | $123.5\text{万円} \times 6\% = 74,100\text{円}$ | $123.5\text{万円} \times 4\% = 49,400\text{円}$ |
| (百円未満切捨て) | 74,100円                                      | 49,400円                                      |
- (5) 特別徴収税額を求める。  $74,100\text{円} + 49,400\text{円} = 123,500\text{円}$

## — 納入書・納入申告書記載例 —

### (表面)

島根県出雲市 個人市民税(特別徴収)納入書 ②

市区町村コード	01470-7-960055	加入者名	出雲市会計管理者
3 2 2 0 3 2	01470-7-960055	出雲市会計管理者	
7年6月分	75010305	納入金額(1)	222,000円
納入すべき金額が右の納入金額(1)の欄の金額と異なる場合は、納入金額(1)の欄を横線で抹消し、納入金額(2)の欄に記入してください。税額に変更のない場合は、税額の記入および訂正の必要はありません。	納入金額(1)	222,000	円
納入金額(2)	222,000	円	
納入期間	7年7月10日	納入種別	給与分(一筆徴収)
日計		納入金額	222,000
合計額		222,000	円
住所又は所在地	〒000-0000	領収日	
氏名又は名称	株式会社△△△	日付	

上記のとおり納入します。(金融機関保管)

### (裏面)

①退職手当等を支払われた人数を記入してください。

市民税・県民税 納入申告書

退職手当等支払金額	1,047,000.00	年	7	月	6	人員	1
特別徴収額	74,100.00	市民税	74,100.00	県民税	49,400.00		

②支払われた退職手当等の金額を記入してください。

③退職所得に係る特別徴収税額を記入してください。

④法人番号を記入してください。

住所又は所在地 千〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇  
 氏名又は名称 株式会社△△△ 代表取締役 〇〇〇〇

法人番号